



平成30年10月 2日

国土交通省 中部地方整備局
矢作ダム管理所

台風24号における矢作ダムの洪水調節効果について

【速報版】

1. 内容

9月30日からの台風24号に伴う出水について、矢作ダムによる洪水調節効果を試算しました。

2. 配布先

豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

3. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 矢作ダム管理所
建設専門官 安藤 尚也

TEL：0565-68-2321

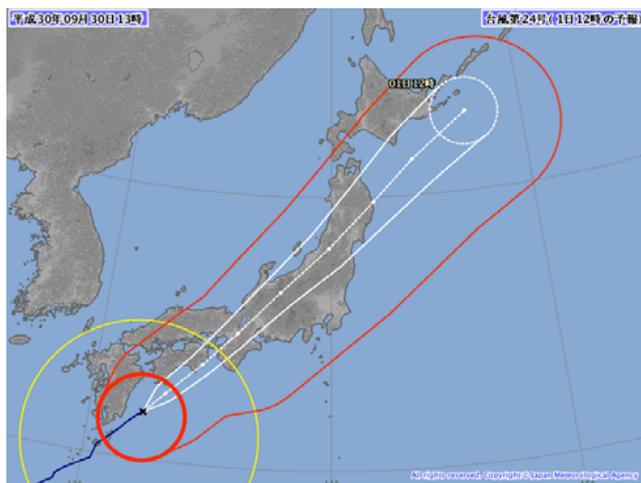
事務所HP：<http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi/>

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

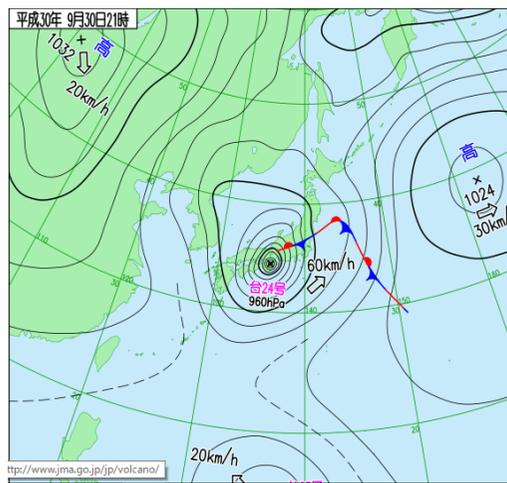
国土交通省
中部地方整備局

○台風24号は非常に強い勢力で和歌山県に上陸し、西日本から東日本や北日本の広い範囲に猛烈な雨や風をもたらす記録的な豪雨となりました。

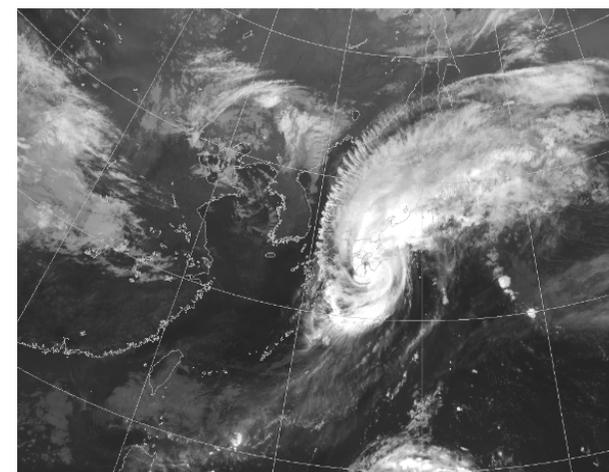
○矢作ダムでは、9月29日の降り始めからの累加雨量は175mmを超え、最大時間雨量も30.1mm/hを記録しました。



台風24号 進路予測(9月30日13時00分時点)



天気図(9月30日21時00分)

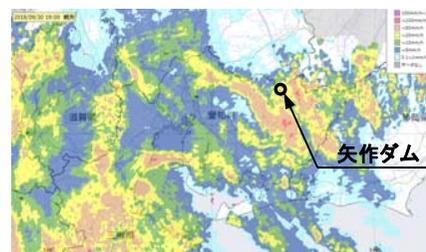


気象衛星(9月30日21時00分)

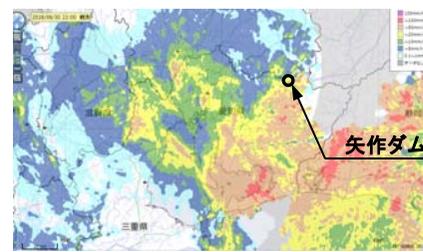
【レーダー雨量】



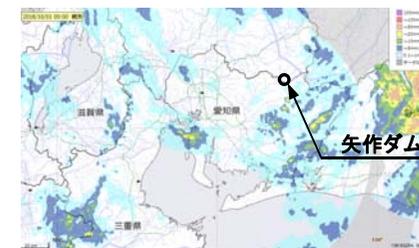
9月30日17時00分



9月30日19時00分



9月30日22時00分



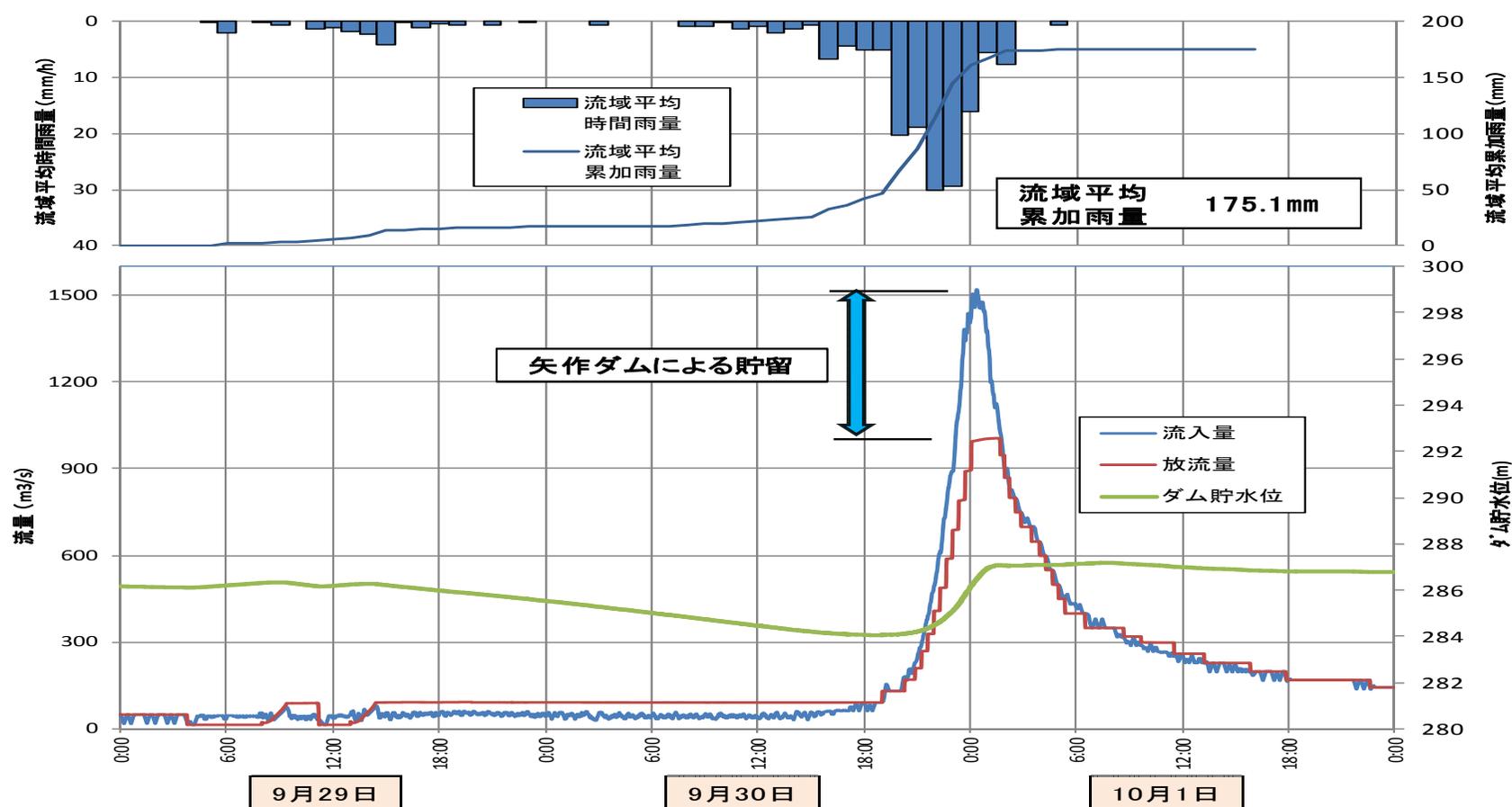
10月1日1時00分

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。

出典: 気象庁ウェブサイト

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

- 台風24号の影響により、9月29日の降り始めからの累加雨量は175mmを超え、最大時間雨量も30.1mm/hを記録しました。
- 矢作ダムでは9月30日19:00から防災操作を開始しました。その後、流入量が800m³/sを超過した22:43から翌日2:32において洪水調節操作を実施し、下流の洪水被害を軽減しました。
- 洪水調節を実施しなかった場合、阿摺ダム下流地点(河口から54.2km)の左岸堤防の一部で堤防高を約50cm越えていたと想定されます。



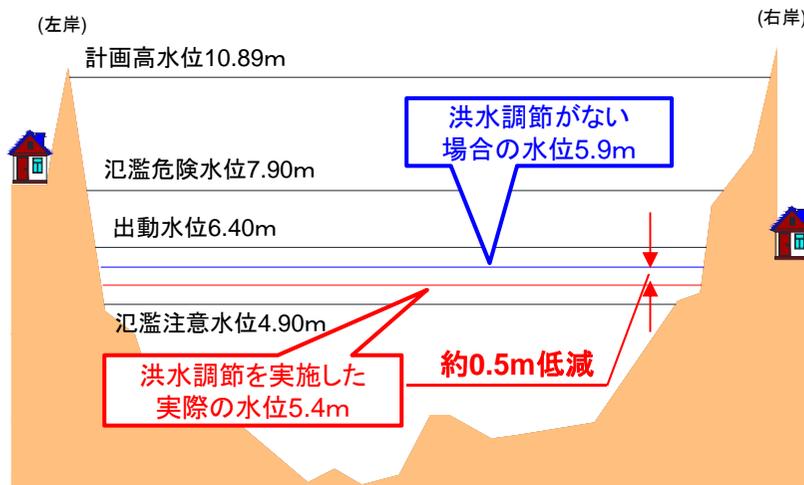
注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

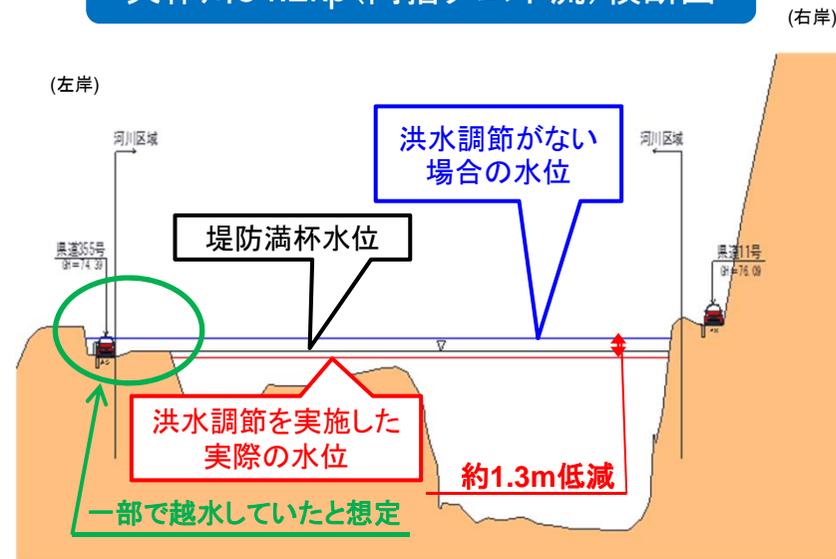


- 台風24号の影響により、矢作ダム地点で最大流入量1,520m³/sを観測しましたが、矢作ダムでの防災操作により、ダムに洪水を貯留したことから下流へ流れる洪水の量を最大で約520m³/s軽減することができました。
- よって、ダムがない場合と比較して、矢作川の水位は、阿摺ダム下流地点（河口から54.2km）で約1.3mの低減効果があったものと推定されます。
- また、直轄管理区間の岩津地点ではダムがない場合と比較して約0.5mの低減効果があったと試算しています。
- 矢作ダムでは、大きな出水であった東海（^{けいなん}恵南）豪雨と同程度の洪水が再来した場合でもダムが効果を発揮できるようダム再生に今年度から着手しました。引き続き、河川改修・ダム整備の推進に努めて参ります。

矢作川29.2kp (岩津地点)横断面図



矢作川54.2kp (阿摺ダム下流)横断面図



注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。